

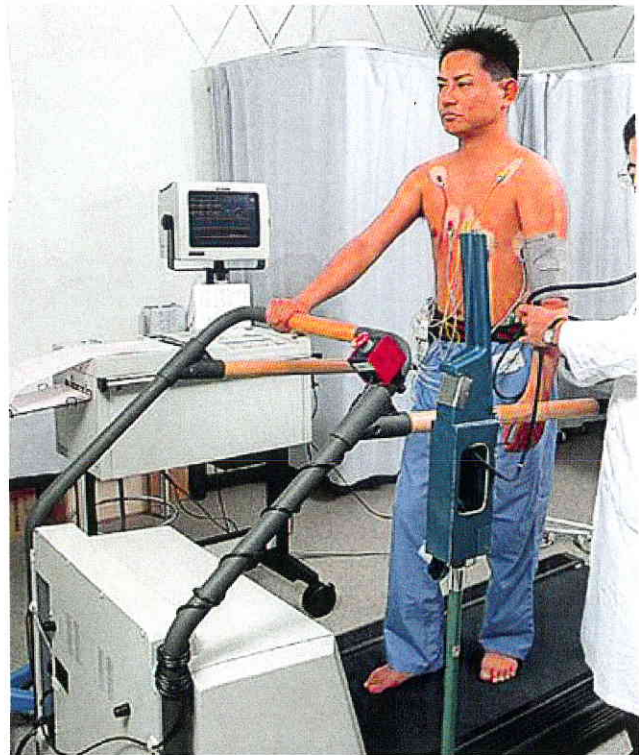
## 説明文書

### トレッドミル負荷心電図検査を受けられる方へ

この文書は、\_\_\_\_\_さんへのトレッドミル負荷心電図検査について、その目的、内容、危険性などを説明するものです。説明を受けられた後、不明な点がありましたら何でもおたずねください。

#### 1 この検査の目的

負荷心電図検査とは、運動により心臓に負荷をかけた状態で行う心電図検査です。トレッドミル(下図)というベルトの上を歩いたり走ったりして運動を行いつつ、心電図を記録します。



この検査では、安静時の心電図検査ではみつけられない心拍リズムに関する問題や、心臓への血液の供給に関する問題点を見つけられる可能性があります。また、あなたがどれくらいの運動を安全に行えるのかを決めるのにも使えます。狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患の診断に利用され、心臓手術後のリハビリテーション計画を立てるのにも有効です。

特にあなたは\_\_\_\_\_のために、この検査を実施します。

## 2 この検査の内容および注意事項

- ①まず、検査技師があなたの胸に電極を貼ります。
- ②血圧を測定し、安静時の心電図を記録します。
- ③トレッドミルで運動を開始します。最初はゆっくりした速度で、傾斜も弱い状態からはじめ、徐々に速度を上げ、傾斜を急勾配にしていきます。
- ④検査は、脈拍数が目標の値に達するか、心電図に明らかな変化が出るか、あるいはあなたが疲れてもう続けられないと感じたり、胸痛を呈したり、息苦しさを感ずるまで続けます。
- ⑤検査終了後、5分から10分間程度、心電図モニターを継続します。

- 検査当日の内服は、医師または看護師の指示に従ってください。
- 所要時間は約30分です。その間に5分から15分間運動することになります。
- 動きやすい服装が必要です。運動に適した服装を持参するか着用の上、検査当日に来院して下さい。シューズは検査室にて準備しております。
- 検査中、胸痛や息苦しさを感ず始めたらずぐに近くの医師または技師にお知らせください。

## 3 この検査に伴う危険性

トレッドミルを使用する運動により心臓に負荷がかかり、血圧の上昇・低下、失神、心不全などを呈することがあります。非常にまれではありますが、基礎疾患に重症の虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）がある場合、重篤な不整脈や虚血性心疾患の病状悪化を呈する可能性があります。重篤な合併症は10000例に1件程度です。

普段の歩行とリズムが異なるため転倒の危険があります。また、筋肉や骨の症状がある場合にも転倒の危険があります。調子が悪い場合は、早めに検査医に伝えてください。

検査により得られる情報の有用性が、検査により起こりうる危険性よりも高いと考えられる場合、この検査の適応があると判断します。検査は医師同伴で行っており、合併症が生じた場合は適切に対応し、最善の処置を行います。なお、その際の医療は通常の保険診療となります。

## 4 検査の同意を撤回する場合

いったん同意書を提出しても、検査が開始されるまでは本検査を受けることをやめることができます。やめる場合にはその旨を下記まで連絡してください。

## 5 研究発表および論文出版へのご協力に関するお願い

当院は、高度医療を施行する一方、国内・海外を問わず、研究会や学術会議にて積極的に研究発表を行い、論文として各種雑誌に診察の結果を公表しております。その際、患者さんの採血結果など、検査・治療の過程で得られた各種データ（採血・画像・組織標本）を使用させていただくことがあります。もちろん、お名前を公表することはありませんし、個人のプライバシーは厳密に保護いたします。すなわち、研究発表や研究論文意外の目的には一切使用いたしません。

研究発表や論文出版を通じて、医学・医療の発展に寄与し、社会貢献を行うべきという当院の理念をご理解いただき、ご了承いただければ幸いです。

## 6 連絡先

本検査について質問がある場合や、検査を受けた後に緊急の事態が発生した場合には、下記まで連絡してください。

### 【連絡先】

住所：東京都千代田区神田和泉町1番地

病院：三井記念病院 循環器内科 外来または入院担当医

電話：03-3862-9111

